

一万三千人の容疑者 (1966)

メディア 映画

ジャンル サスペンス

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1966/09/08

公開情報 東映

【キャッチコピー】

犯罪史上空前の幼児誘拐事件！

【解説】

1960年代に起きた“吉展ちゃん事件”の主任刑事だった堀隆次の捜査手記を原作として、実在の誘拐事件に基づいて制作されたドキュメントドラマ。脚本は「複雑な彼」の長谷川公之、監督は「流れ者仁義」の関川秀雄。出演は芦田伸介、田畑隆、小山明子。

4月1日の夕方、下谷署に緊張が走った。子供の誘拐事件かという情報に捜査本部が立てられ、東北訛りの男が身代金五十万円を要求してきたのだが、指示された場所に張り込むも犯人は現れなかった。警視庁の鬼刑事こと堀塚部長刑事は、若い高井刑事と共に誘拐された村岡明彦ちゃんの自宅を訪ね、悲痛ながらも捜査に協力する母親・敏子の姿に事件の早期解決を誓う。一週間後、再度例の男から五十万円の要求があったが、捜査陣と敏子の連携ミスにより、犯人を取り逃がしてしまう。世間から失態を非難された捜査陣にとって、残された方法は公開捜査に切り替えることだった。それに伴い1万3千人のブラックリストが作成され、緻密な身辺捜査が始まったのだが…。

【クレジット】

監督 関川秀雄

企画 栗山富郎

原作 堀隆次

脚本 長谷川公之

撮影 飯村雅彦

美術 中村修一郎

音楽 伊福部昭

出演 芦田伸介

小山明子

田畑孝

井川比佐志

市原悦子

永田靖

浜田寅彦

稲葉義男

神山寛

織本順吉

松本克平

村瀬幸子

岸輝子